

アジア歴史資料センター 概要とシステム

国立公文書館 アジア歴史資料センター

2003年 6月

1. アジア歴史資料センターの目的と背景

- 1994年8月のアジア近隣諸国の人々との関係改善を目的とした村山総理談話を受けて1999年11月30日に設立に関する閣議決定。
- 2年後の2001年11月30日、独立行政法人国立公文書館の一組織として発足。
- センターはインターネットを通じ国の機関が保管する明治維新前後から終戦にかけてのアジア歴史資料を、画像データで提供するデジタルアーカイブズ。

2. アジア歴史資料センターの特長

- (1) センターの資料は、センターのホームページにアクセスすることにより、誰でもどこからでも24時間、無料で閲覧が可能です。
- (2) 異なる機関に保管されていたアジア歴史資料が、原資料のまま画像データとしてセンターに蓄積されることにより、所蔵機関や組織の枠を越えた横断的な資料の閲覧が可能です。
- (3) 大量のデジタル画像を高度の圧縮技術で変換しているため、スムーズに閲覧でき、画像のサイズ変更や部分拡大などの操作性にも優れています。
- (4) 同義語・関連語を含め辞書機能を独自に開発し、幅広い検索が可能となっています。英語による検索も可能になりました。

3. 情報システム設計の重点項目

- だれもが簡単に利用できる検索システム
- 検索の中立性と精度を上げるための目録内容
- 多言語、少なくとも英語での検索への対応
- 同義語・関連語・英語辞書システムによる検索のアシスト
- インターネット経由大容量画像データ送信のための画像圧縮技術DjVuの採用
- 大容量記憶装置と高速検索システムの採用
- 情報提供のための高速化と冗長性を確保したインターネット回線の確保
- データ改竄対策等も含むセキュリティの強化と環境変化への対応

4. センターが提供する資料

・「アジア歴史資料」とは「近現代の日本とアジア近隣諸国等との関係に関する公文書」です。

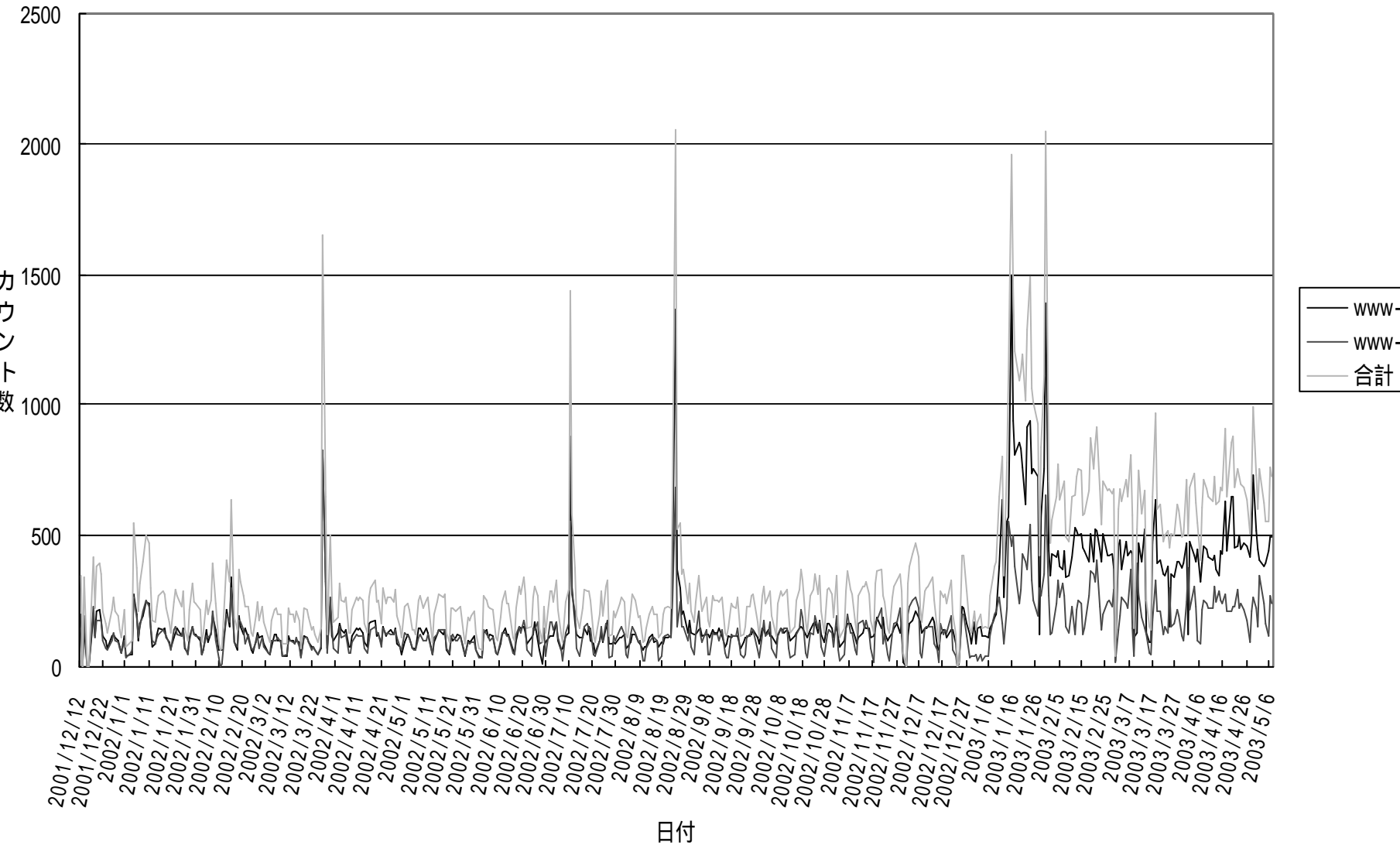
現在、以下3館の画像331万点、目録27万件を提供しています。今後毎年画像200万以上、目録15万件程度の資料を追加する予定。

(H.15.6月 概数)

・国立公文書館	画像 76万点	目録 10万件
・外交史料館	画像 66万点	目録 4万件
・防衛研究所図書館	画像 189万点	目録 13万件

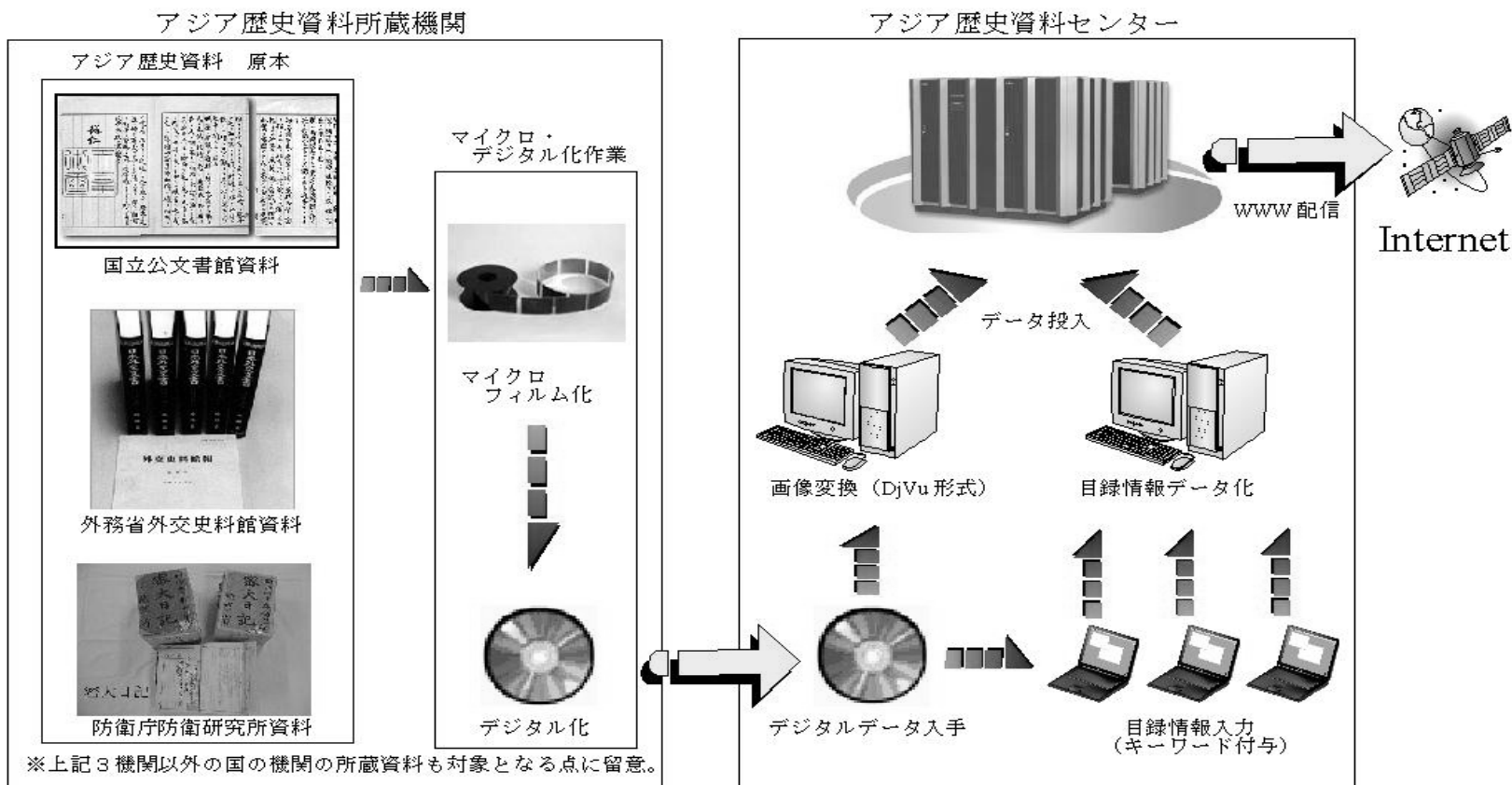
— 今月末に画像450万、目録35万件に増加する予定。

日本語版
WWWアクセスカウンタ(01/12/12～現在)



5. 情報提供の流れ

アジア歴史資料情報提供の流れ



アジア歴史資料センター共通目録データ項目と整理分類体系

データ項目	整理分類としての意味
1．レファレンス・コード	アジ歴と資料（管理番号）等を特定する
2．表題	ファイル（簿冊名）アイテム（件名）の特定
3．記述単位に含まれる資料の作成年月日	資料に関係する時代や年代の特定
4．記述のレベル	簿冊か件名レベルの特定
5．記述単位の規模	物理的な分量の特定
6．作成者名称	資料の作成者や組織の特定
7．組織歴/履歴	7階層 Sub-Fond 出所に比定
8．記述単位の年代域	資料が作成された時間的な広がり
9．資料入手先	原資料の所蔵先を特定
10．範囲と内容/要約	資料の内容を特定
11．資料の使用言語	言語、文字、記号体系の特定
12．検索手段	各所蔵機関の検索手段を特定（目録の有無）
13．オリジナル資料の所在	所蔵機関の特定
14．複製の存在（MFリール・コマ番号）	複製の有無を特定
15．注記（覚書等）	

目録

[ヘルプ](#)[English](#)

レファレンスコード: G20010006615

表題:	緬甸工作に関する件 (昭和17年「陸亜密大日記 第42号 2/2」)
作成者:	南方軍総司令官伯爵 寺内寿一
作成年月日:	昭和17年09月06日
内容:	軍事極秘 八七七三号 南総参一第五一三号 緬甸工作ニ関スル件 報告 首題ノ件別冊ノ通り報告ス 軍事極秘 緬甸工作ニ関スル件報 告 南方軍総司令部 南方軍ハ昭和十六年十一月二十四日大陸命 第五五六号ニ依リ南機関ヲ指揮下ニ入ラシメラル 当時ニ於ケル南 機関ノ緬甸工作計画別冊第一ノ如シ 次テ昭和十六年十二月二十 三日南総作命乙第七号ニ依リ之ヲ第十五軍ノ指揮 ニ属セシメ爾後 自ラ対緬甸謀略ヲ実施セシメタリ 緬甸進入作戦ニ伴フ作戦ト謀略ノ 調整ニ関シテハ昭和十七年一月六日別紙第一「緬甸ニ関スル謀略 実施等ニ関スル件」ノ如ク指示シ第十五軍ニ於テハ謀略發起以後 義勇軍ノ「シツタン」河進出迄ノ間ニ於テ緬甸内独立分子ノ糾合一齊 蜂起ヲ目途トシ
機関 出所 シリーズ サブシリーズ:	防衛庁防衛研究所 陸軍 陸軍省大日記類 陸亜密大日記
記述レベル:	件名
組織歴/履歴:	陸軍大臣 東条英機
複製の存在:	AMITU_0380557
資料の使用言語:	ja
規模:	77

6. アジ歴情報提供モデルは

- 対象物の色、材質感、立体感を再現しなければならない「デジタルミュージアム」には不向き
- コンテンツ (2値データの文字データ) が中心の文書資料を大量にインターネットで提供しなければならない文書館や図書館に適用できるモデル

7. アジ歴史資料センターの課題

- 人材の確保
 - アウトソーシングの限界
- 異なる組織が所蔵する資料の受け入れ
 - 協力体制、権限、予算等
- 共通の公開原則等の不統一
 - プライバシー保護、著作権処理等の問題
- 広報活動の強化
 - アクセス拡大、国内、対外広報戦略